

「かくまでに醜き国になりたれば、捧げし人のたゞに惜しまる」



上記の歌は、2013年2月12日に、今は亡き石原慎太郎氏が当時衆議院議員であって、衆議院予算委員会において日本維新の会を代表して質問に入り、冒頭で披露をされたものです。石原氏がこの歌に出会われたのは、前年に靖国神社に参拝をされた時で、ある90歳ぐらいの戦争未亡人が歌われた歌と紹介されました。石原氏は深く心に刻まれ、国会にお

いて披露をされ、戦後政府の国政を正す内容にて質問をされました。これはインターネットで公開されておりますので、一度ご覧になればと思います。

その未亡人は終戦前に結婚して一児を授かりますが、ご主人は戦死をなされ、残されたご主人のご両親と遺児と共に必死になって今日まで生きながらえて、ご両親を見送り、遺児を立派に育て上げた時に、この世の中は「醜き国に」になっており、夫が生きて居ればどのように思うだろうか、又、こんな国にする為に夫は命を捧げたのだろうか、情けない限りである、と云う意味の歌です。

当時の国会は自民党の安倍政権であり、安倍晋三総理、麻生太郎副総理をはじめ他の国務大臣を前に下記の通り質問をされています。

- 一．憲法改正について。戦勝国が敗戦国に対して作った憲法は世界を見回してもなく、しかも67年間（2012年時）も改憲せずに手付かずで継続していることは異例である。早速に憲法を日本人の手で作直していただきたい。
- 二．中国との領土問題において、尖閣列島の領土は国際的に日本の領土である事は歴史的に確定しているが、そのまま放っている事は大きな問題であり、せめて小さな船が停泊できる港を作り、航海する船の目印に灯台を作るべきである。
- 三．靖国問題は日本の政治の最高権力者である安倍総理が参拝する事は近隣諸国との政治的摩擦が起きるので行かなくても良いが、神道における現行の大司祭である天皇陛下に安倍総理が奏上して靖国神社参拝をお願いするべきである。天皇陛下は日本国の象徴であり、日本の政治的代表ではないので関係諸国からの批判は出る事はない。
- 四．日本の国家会計はいまだに単式簿記で先進国において唯一の国であり、複式簿記に早急に変えるべきである。
- 五．米軍横田基地は過密する東京のど真ん中に位置し、その滑走路は4000mを優に越し、民間の大型旅客機が十分に離着陸できる規模を有している。そして現在は米軍において利用度はごく少ない状況の中で、近くの羽田空港は過密状況である。今年の1月2日に事故があり、大惨事になるところであった。しかも治外法権であって手をだすことができない。アメリカとの外交折衝をし、軍民共用の利用を交渉するべきである。

以上大まかに5項目において石原氏は質問をされたが、戦争未亡人に対し政府のこの為体を正す質問であったように感じました。ただ当の未亡人は政府に対しての「醜き国」だけではなく、戦後の日本における多くの国民の生活、考え方、伝統行事などにおける変わり様にも「醜き国」を感じられ失望されたものであると考えます。

I. 昭和20年アメリカ軍（マッカーサー）が進駐してきた目的は

勇猛果敢であった日本人の持つ愛国心を削ぐことが趣旨であった。その趣旨を達成するために下記の政策を行う。

- ① 民主主義の導入（個人主義）で戦前の集団主義を解体
- ② 軍国主義の撤廃
- ③ 財閥解体…旧財閥を解体して戦後日本経済をゼロから出発させた。
- ④ 農地解放…農地を不在地主から小作人に開放し自作農を作る
- ⑤ 戦前教育から民主教育への転換と日教組設立の容認
 - イ) 教育勅語の廃止
 - ロ) 皇室の歴代天皇の名前を約 600 年間に亘って消す。
 - ハ) 近代歴史を詳しく教えない

II. 我々一般国民から見て考える「醜き国」とは

1. 戦後日本国政府

- ① 憲法改正を自らできない
- ② 国を守る自衛軍を憲法に謳えない
- ③ 先の大戦において戦死者を祭る靖国神社に国家の責任者がお参りする事が出来ない（特攻隊の兵士の合言葉「靖国で会おう」）
- ④ 靖国神社の天皇陛下が参拝される事も出来ない
- ⑤ 教科書に隣国が干渉する上に戦前の教育勅語に代わる理念を教えていない
- ⑥ 現在の学校教育では日本の創成期の歴史や明治以降の近代史を子供達に伝えられていない。
- ⑦ 日本国領海において無断で侵入されても抗議すらできない
- ⑧ 政治と金の問題で政治家の姿勢が問われる事件が頻繁に起きていて終わりが見えない
- ⑨ 日本の食糧自給率 35%と云う現実

2. 終戦後民主主義を広められ地域における人間関係と個々の人間関係の問題

- ① 権利と義務の履き違いをする人間が多くなる
- ② 民主主義の下、個人主義が蔓延し自分さえ良かったら良いとの考え方
- ③ 地域集落単位の生活行事が大きく変化し、集団で行っていた団体が地域によって無くなりつつある。（婦人会、老人会、消防団、子供会等）
- ④ 近所周りで助け合った冠婚葬祭、地域内の清掃、農作業、山林の手入れが銘々勝手に行われている
- ⑤ 結婚を機会に親子との同居する家族が少ない（核家族が当たり前）
- ⑥ 親が子の養育を放棄し、子が親の介護を見捨てる時代
- ⑦ 男女とも以前と結婚観が異なり、少子高齢化が大きく進んでいる
- ⑧ 国旗も揚げず国歌も歌わせない学校もある
- ⑨ 倫理道徳も教えないその結果
 - イ) ホストクラブに行く為に自分の身体を売る若い一般女性
 - ロ) 美容整形をする為に身体を売る若い一般女性
 - ハ) 子を虐待する親（父母、養父）、親の兄弟
 - ニ) インターネットの普及により、人、会社への誹謗中傷が氾濫し、また詐欺、殺人等の新たな経緯の犯罪が生まれている
 - ホ) 全国的には学校内にて生徒同士のいじめにより子供の自殺者が多くみられる
 - ヘ) インターネットで盗撮が拡散する社会

最後に私見として、ロータリークラブにおいては様々な意見をお持ちの諸兄もおられると思

いますが、こんな課題も社会奉仕の一環として話の出来る場にしないでと、又、子供の教育の原点として明治時代に作られた教育勅語ではなく、現在に合った人間としての理念を培うような全国統一の勅語に代わるものを作らねばならないと考えます。